

第30回議会報告会 報告書

彦根市議会議長 馬場和子 様

福祉病院教育常任委員会班 野村博雄

開催日時	令和2年1月13日（月・祝）14時～15時30分
開催場所	ビバシティ彦根2階 研修室
出席議員	<p style="text-align: center;">議 員 氏 名（ 役 割 ）</p> 野村博雄（会場内お迎え誘導、司会・開会挨拶、趣旨・本市の現状及び本委員会の取組説明） 赤井康彦（会場内お迎え誘導、閉会挨拶、Gテーブル担当） 小川吉則（受付、Aテーブル担当） 辻真理子（当日チラシ配布、Bテーブル担当） 堀口達也（当日チラシ配布、Cテーブル担当） 角井英明（当日チラシ配布、Dテーブル担当） 馬場和子（受付、Eテーブル担当） 伊藤容子（当日チラシ配布、Fテーブル担当）
参加者数	一般来場者34名（内傍聴者4名、また未就学児数名は含まない） 担当議員8名、大学生15名、大学担当者1名、議会事務局員2名
内 容 （内容及び時間 配分）	<p>今回は8テーブルにわかれて、大学連携の一貫として大学生がカフェホストとなりワールド・カフェ形式で実施、各テーブルでは大学生と議員が進行・まとめ役となって実施しました。</p> 14：00 開会・挨拶 資料確認、ホームページや広報等への掲載・報道提供の説明、議員・大学生紹介、大学連携の説明 本日のテーマ「小・中学生の学力向上」について趣旨・本市の現状及び本委員会の取組の説明14：15 本日の進め方、ワールド・カフェの説明14：20 第1ラウンド「10年後の社会で求められる学力とはどんなものか」各テーブル内で自己紹介、話し合い14：40 席移動後、第2ラウンド「その学力を向上するために何をどのように取組むべきか」各テーブル内で自己紹介、話し合い15：00 第1ラウンド時の席へ戻り、第3ラウンド「その学力向上のために私達に求められているものとは何か」各テーブル内で話し合い15：20 全体セッションとして、会場内を自由に移動し、各テーブルの話し合いの内容を共有15：28 閉会挨拶15：30 終了、アンケート記入

<p>主な質疑応答、 議会への意見 (話し合いの内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語力、言語能力、読み書き、読解力、聞く力、深く考える力、情報の取捨選択能力、問題解決力、考えを言葉にして伝える力が大切 ・主体的な学び、探求心を育む教育 ・興味ややる気を引き出す授業 ・何より教師の質の向上が求められる ・補習授業の必要性 ・つまづきを早く発見する必要 ・英語の授業やプレゼンを取り入れたり I C Tを活用した授業 ・子ども同士で教えあうことが大切 ・読書や日記を書く ・教師のパソコンやデータ活用能力の向上 ・教師も手一杯なので必要な仕事の精査、仕事増えたぶん削減も必要 ・教師がより魅力ある仕事にしていく ・分業化し学校では人間力を中心に教える ・自主学習が大切 ・自主学習だけでは差が出るので、宿題の在り方・出し方を再考し質を高めることが重要、有料ドリルの活用（保護者負担でも構わない） ・家庭教育、幼児期の読み聞かせ ・暇な時間、余白を味わう、好きなことに打ち込める時間を作って、やりたいことを見つける ・個性や違いを受け入れ認める ・学校以外でも学べる場や居場所を増やしていく（塾、地域サロン、放課後児童クラブ、公民館の活用） ・地域のつながり、伝統文化を学ぶことも大切 ・地域で見守っていく ・多くの体験、成功体験が大切 ・大学との連携 ・専門家や大学生、ボランティアの力の活用（必ずしも無償でなくそれなりの報酬も必要かも） ・学校や教育委員会の取組を市民にできるだけ知らせ共有する必要
---	--

※ 添付するもの

- ・回収したアンケート
- ・写真 数枚（当日の様子がわかるもの、データ提出も可）

※ 提出期限：開催後、7日以内に議会事務局あて提出